

華人經濟 経営研究

～彼れを知らず己れを知らざれば戦う毎に必ず殆うし～

文明と経営

どんな社会も風土や文化(言語・宗教・習慣など)文明の所産である。その社会に浸透している経済思想もまた文明の所産である。

同じ市場経済でも欧米と華人社会と日本では人々は皆違う原則で動いている。

欧米では市場は神の前に平等な個人が合理的な判断をすることを前提に成り立っている。そして企業の経営はお金すなわち資本を増殖することを目的としている。文字通り資本主義である。華人社会や日本でも利益の追求はするが人々は必ずしも欧米流の合理主義的判断をしないし、利益の追求が最優先でない場合も

中国本土からアジア地域、そして世界にまで活動範囲を拡大するチャイニーズ。彼らのビジネスに対する考え方や習慣は日本人からすると異質にして独特で、理解しづらいものだといわれている。チャイニーズを総合的に「華人」ととらえ、彼らの多様な伝統文化と長い歴史から導き出された経営思想、心理と行動を体系的に分析し、華人圏や中国への進出に伴う総合的なノウハウを学び合う関西日本香港協会のみなさんの研究の成果を紹介する。

日本の経営の精神

(1)

ある。

CMMSは時代が変わっても変わらない華人の行動原理を追求している。華人

文明の歴史は広大な地域の中で、多様な地理的気候的条件の下で、多くの異質な民族が覇権を巡って抗争を繰り返してきた歴史である。

日本の経営の起源

日本は古くは中国の制度文物を受け入れ、明治時代は西欧のマネをし、戦後はアメリカの模倣をした。日本は模倣大国であり独創的なものは何もないという人もある。そういう面は否定できないが、日本文明にも独創的な所がある。それは他の文明から制度文物取り入れるに際して、それをそのまま使うのではなく、自らに適合するように変容してしまふ民族の力である。

奈良時代以降仏教・儒教を受け入れたがインドや中国とは違う日本人にあうように仏教・儒教を変容した。律令制は形の上では明治直

てCMMSが対象として分析している華人の行動原理が生まれた。

前まで生きていたが、受け入れた当初から神祇官・太政官並列(神祇官上位)で、科挙なし・豪族世襲という本家中国とは全く異なる日本的システムに変容していた。

中国のような絶対的権力を持つ皇帝は日本に存在せず、権威はあるが権力を持たない天皇を頂く伝統があったからだ。中国の制度文物を日本的に変容してしまふ精神を、遣唐使派遣遺止を建議した菅原道真は、「和魂漢才」と称した。

日本の経営の根幹

明治維新以降は文明開

化、殖産興業の名の下に西欧の政治、経済、教育、軍事等の制度や思想・科学を積極的に取り入れた。人々は「和魂漢才」に代わって

「和魂漢才」の精神で対応し、西欧の制度文物は日本的

精神の土台の上に築かれた。科学や思想・文学等すべて日本語に翻訳されて日本語で消化吸収された。その

根底となる精神を新渡戸稲造は、成文法にはなっていないが、武士の心の中に刻み込まれた暗黙の行動規範即ち武士道であると分析した。新渡戸が武士道として説いたのは以下の七つの徳目である。

(1)義：卑劣な行動、曲がった振る舞いを嫌い、正しきことを最優先する、真っ正直な心が最も大切。武士道の光り輝く柱だ。

(2)勇：剛毅・不撓不屈・大胆。義と対になる徳目。義を見てせざるは勇なきなり。勇の鍛錬の為に忍耐力

(3)仁：愛、寛容、憐憫。特に敗者・弱者・劣者に対する惻隱の心が武士の情として重んじられ、強者が弱者を抱擁する共生の社会を良しとした。

(4)礼：他人に対する思いやりを目に見える形で表現するもの。見せかけ上の作法ではなく、人を養ふ、我慢せず、思ひ上がらない品性の良さを養うもの。

(5)誠：誠を分解すれば「言が成る」。言ったことを必ず守る誠実さ、信実。武士に二言はないという武士にとり契約書は不信の証でありおぞましいものだ。

克己心の涵養に努めた。

(6)名譽：名、面目を重んじ、恥を嫌う心。名譽心は人を

(7)忠義：目上の者に対する服従と忠誠。主君の気まぐれや思いつきに無節操なべつらいで機嫌取りするのは忠義ではない、主君の非を説く諫言こそが忠義。

以上述べた和魂漢才や和魂洋才における「和魂」こそが日本人の伝統的精神構造である。それが日本人のあらゆる行動の根底に横たわっており、ビジネス活動にも当てはまる。それが日本の経営の根幹をなす精神であろう。

(このシリーズは2カ月に3回掲載します)



【木全千裕(きまたちひろ)さん】
日本香港協会全国連合会会長、関西日本香港協会会長。1961年一橋大学経済学部卒、同年住友電気工業(株)入社。経理部を経て、中近東・東南アジアなどで海外電力工事プロジェクトに従事。1990年子会社米田国住友電気社長(ニューヨーク駐在)、その後国際事業担当常務取締役。1999年東洋物産(株)社長→会長(2006年テクノアソシエに社名変更)。2000年関西日本香港協会理事、2009年同協会会長。
【日本香港協会全国連合会】<http://www.jhks.gr.jp/>

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。

人たらしめる部分、それがなければ駄目。子供に対して、富や知識よりも名譽が大事と教えた。